

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	31-2
PDCA	主要事業名		音楽のあるまちづくり事業		部課名		教育部生涯学習課			担当	酒井
										内線	23-7341
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 12,169 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 09.05.01.05.50				
	事業概要等		令和2年8月26日付で公益社団法人セントラル愛知交響楽団と締結した「半田市事業概要：音楽文化振興に関する協定」に基づく事業を始め、音楽のあるまちづくりを推進するための各種音楽関連事業を実施する。								
			事業目的： 新たな音楽文化の創造や醸成を促し、ひとづくりやまちづくりに繋げていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与する。								
			事業内容： セントラル愛知との協定事業（公演事業、小・中・幼・保等でのアウトリーチ・ワークショップ等）、海外アーティストの公演等								
			問題点・課題等： 長期的に継続しなければ効果がはかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。								
	予算額		主要事業とする理由								
	12,169 千円		市民への質の高い音楽文化の提供を通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。								
	財源内訳		得られる成果								
市費 6,201 千円		新たな音楽文化の創造や醸成が促され、ひとづくりやまちづくりにつながり、心豊かな市民生活と活力ある地域社会が実現する。									
国費 0 千円											
県費 0 千円											
その他 5,968 千円											
D 実績値	決算額		得られた成果								
	12,083 千円		セントラル愛知交響楽団との協定に基づく委託事業等の実施により、音楽のあるまちづくり事業の認知度は、昨年度と比較して9.1%の減少となり、目標値を下回った（本市の音楽のあるまちづくり事業に初めて参加する方々が「知らない」と回答）が、満足度は、目標値をほぼ達成することができた。								
C 課題の整理	事業の評価・課題		D セントラル愛知交響楽団との協定に基づく委託事業としては、雁宿ホールの大ホールでのコンサート「吹奏楽の響き in HANDA」と「ガラコンサート」、個々の興味の度合いに合わせた「ビギラ」はんだ2022」、市内中学校吹奏楽部員がプロ演奏者から指導を受ける「中学校へのワークショップ」、「小学校・幼稚園・保育園・こども園へのアウトリーチ」、親子で鑑賞できる「ちいさなコンサート」などを開催し、質の高い音楽の提供により、市民における音楽文化の醸成を図ることができた。また、協定外の事業としては、「プラハ・チェロ・リパブリック公演」や、市役所を会場に加えた「ロビーコンサート」などを開催した。新規の参加者が一定程度増加している一方で、市民の需要に合わせた事業の実施により認知度を高め、参加者を増やすことが求められている。								
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性		改善推進 子ども向けのコンサートを増やしてほしいという要望を踏まえて、セントラル愛知交響楽団との協定に基づく委託事業としては、子どもから大人まで楽しめる「Pops Concert」を開催するとともに、「量でコンサート〜0歳からのクラシック〜」の開催回数を増やす。また、「中学校へのワークショップ」については、学校からの要望を受け、実施回数や、指導するプロ演奏者数を拡充し、中学校吹奏楽部アドバイザー制度として実施する。協定外の事業としては、親子で楽しめる音楽公演を新たに実施し、学び・体験や文化芸術公演の鑑賞機会の充実を図っていく。併せて、音楽文化に関するイベント開催等の情報を確実に届けるため、SNSを活用したPRの推進を図る。								
観点別評価			必要性			有効性			効率性		
			①市の関与の妥当性 妥当			④上位施策への貢献 大きい			⑦コスト削減 ない		
			②市民ニーズ 高い			⑤成果向上の余地 ある			余 地 ※対象・手段の変更		
			③休廃止の影響 大きい			⑥類似事業の有無 ない			⑧受益者負担適正化余地 ない		